

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～20℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の44%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり185kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり8.3トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり15kgの水揚げで前週の36%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり119kgの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。五島奈留地区では1日1統当たり16kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり74kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり177kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり38kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり213kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/4～4/8の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺に出漁。

鳥取県西部（沖合船）1日延1隻、総計30箱。スルメイカ（20～25入）29箱、ケンサキイカ（入合）1箱の混獲となった。

今期も山口沖が主漁場となったが月夜で漁獲が減少した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-10号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」に掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>